

中心児報

発行日：2019（平成31）年 3月15日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

Tel：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email kodomoioie@chusinkai.jp

発行責任：所長 下鳥 善男



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

※ カラー版はホームページをご覧ください。

旅立ちの春

所長 下鳥 善男

自分が幼かった頃（40年前の相模原市は）、4月の入学式に桜が満開に咲いていました。しかし、ここ数年で開花は早まり、今年の関東の桜の開花予想は3月の後半と、テレビで伝えられていました。40年も経つと気候も変化していくものだと改めて実感しています。反面、子ども達が巣立っていく様子や雰囲気は、自分が児童養護施設に入職した26年前とほとんど変わらないと感じています。子ども達の巣立つ3月は、毎年ながら感慨深いものがあります。

50名近くの子供達が入所している中心子どもの家は、長く入所している子で16年もの期間を施設で過ごすこととなります。「自分の故郷は、この施設だ」という子もいます。「施設の生活は大変だった。自分が親になったら自分の子どもを施設に預けるようなことだけはしたくない。」と言って退所していった子もいました。子ども達の想いや、施設生活での感じ方は様々ですが、それぞれの生活体験を基盤として社会に巣立って行きます。職員である私達も、その子に十分な支援ができたのか、もっとしてあげられることはなかったのか、様々な想いや後悔が頭をよぎります。

さて、この3月に出された国の方針では、社会的養育に関して里親を中心とした家庭養育を主体としていくことが記されています（福祉新聞3月11日発行より）。施設、行政機関、里親がよりいっそう協力していくことが必要となっていきます。施設の生活はどうしても集団での生活がベースにあり、家庭養育という観点からは子ども支援に不足が生じないものと懸念されがちです。しかし、その不足を補うべく、今年度も本当にたくさんの支援をボランティア、ご寄付、ご招待など、様々な形で多くの皆様から頂きました。感謝してもしきれないくらいのご支援を本当にありがとうございました。職員も子ども達のためにこの1年も奮闘してまいりました。1年経つと子ども達が社会に巣立ち、また明日から次に巣立つ子ども達が準備を始めます。毎年、毎年繰り返してはありますが、1日1日を大切に、皆様の応援を糧にして、これからも日々精進していきたいと思えます。



HOMEフィードバック集会



2月8日、今年度のHOME活動報告の場であるフィードバック集会を行いました。集会には学校の先生や相模原市児童相談所の方々などいつも支えてくださる方々が来てくださり、来賓の皆様が温かく見守る中、子どもたちはそれぞれの発表を行いました。各部会、子どもたちの成長を感じられる発表となりました。

集会に向けては、各部会で活動のまとめをしました。各ユニットでも1年の生活について振り返り、職員から子ども達へ感謝の気持ちやメッセージを伝えています。

今年度の活動を来年度の糧にし、より良いHOMEとなるようこれからも子ども達と一緒に考え、活動していきたいと思えます。



HOME活動報告

2018年度HOMEの活動報告をさせていただきます。

幼児部会

今年の幼児部会は幼稚園児7名・未就園児6名の計13名で活動しました。今年のスローガンは「みんなで・あつまって・ニコニコ・えがお」でした。幼稚園生が多い年だったので、幼稚園バスをしっかりと並んで待つことを目標に一年間活動しました。その他の活動としては、幼稚園児と未就園児と分かれてお茶会や遊びを通して、仲間作りを教えました。

小学生部会

今年度の小学生部会では、男子は「信頼・協力・団結」、女子は「みんなが中心、笑顔のチーム」を目標に、ゴミ拾いや、チームを作ったの外遊び、係に分かれての活動等を行いました。喧嘩しながらも、6年生が中心となって頑張る姿も見られ、成長を感じました。

今年度の活動を来年度以降につなげ、さらにより良いチームワークを目指していきます。

中学生部会

今年度の中学生部会では、「子ども達主体」で活動することをテーマに1年間活動してきました。中学生一人ひとりが今年度頑張ることの目標を立て、また、夏休みには毎日部会で集まり施設内の清掃や花壇の水やりを行いました。部活動等で忙しい中、中学生としての役割を考え活動することが出来ました。

高校生部会

今年度は「調和」を目標に活動しました。部会の中で互いの不安や悩み、年長児から見た各家の様子を共有し、悩んだりつまづいたりしているのは自分だけではないことを確認できる機会となりました。各家で調和材のような役割で年少児に関わってくれる姿は、職員から見てとても遅しく感じました。

もちつき



12月9日（日）に毎年恒例のもちつきを行いました。

寒い中、たくさんの方々にご来場いただき、ボランティアの方や地域の方のお力添えの下、楽しいひとときを過ごすことができました。

子ども達も一丸となって事前準備や当日の仕込み等一生懸命取り組んでくれていました。



あすなろ作品銀賞受賞!!!

2月3日（日）に神奈川県児童福祉施設作品展が行われました。

見事、小学6年生女児の作品『獅子舞』が銀賞に選ばれました。

受賞した小学6年生女児は授賞式に参加し、立派な賞状と盾をいただきました。とても嬉しそうな様子でした。



地域の方より、立派なお雛様を寄附いただきました。

組み立ての際、足場の組み立てがうまくいかずにいると寄附して下さった方が快く来園して下さり、組み立てのお手伝いをして下さいました。

施設の玄関前がとても華やかになり、子ども達や来園して下さった方が足を止めてお雛様を眺めていました。

また来年、素敵なお雛様に会えることを楽しみに健康に過ごしていきたいと思います。



中心子どもの家・田名地区社協共催



親子サロン「おもちゃぼこ」



中心子どもの家では、月1～2回程度、未就園児と保護者の方を対象に、親子サロン「おもちゃぼこ」を開催しています。予約は不要です。当日施設にお越しください。

<31年度 4～6月予定表>

月	日	曜日	内 容
4	11	木	「おはなしワニーズ」(布おもちゃ)
5	9	木	リズム ※①おもちゃの病院
	22	水	「ゲーチョコキパー」(人形劇)
6	6	木	リズム
	26	水	「英語で遊ぼう」

※①おもちゃの病院とは

- ・おもちゃドクターが無料で治療(修理)をしてくれます。(部品代等有料の場合があります。)
- ・件数把握のため、事前にご連絡ください。

- ★ 駐車場がありますのでお車での来園が可能です。
- ★ ホールを14時まで開放しています。昼食を持参してご利用下さい。



ご寄附お礼

【平成30年11月27日～平成31年 3月15日】

熊沢秀子様、全国シャンメリー協同組合様、大河原京子様、松澤義明様、(福)神奈川県共同募金会様
 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社様、株式会社SDR様、(株)ザ・シティ相模大野店様
 松浦真一様、相模原西ロータリークラブ様、小林克也様、株式会社 三光工芸社 代表取締役 貝塚豊様
 KYB労働組合様、日本鏡餅組合様、井上尚弥・拓真後援会様、株式会社プレナス様、岩水祐一様
 はやぶさ様、岩本紀彦様、西本英明様、遠藤俊枝様、玉川学園長・玉川大学長 小原芳明様
 金剛寺律子様、石井博様、フィリップモリスジャパン合同会社様、神奈川県トヨタ自動車株式会社様
 馬場正夫様、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団様、会田吉美様、田名郵便局長 木下雅之様
 株式会社カレンズ 木村仁様、小林優子様、コンパル橋本様、社会福祉法人 悠朋会様、内藤歩様
 相模友の会様、星が丘地区民生委員児童委員協議会様、神奈川県西北地区郵便局長会様、六川泰子様
 富永一朗様、安西直樹様、吉村孝様、高橋契二様、相模原市太鼓連盟様、中国家庭料理 山東様
 根本幸次郎様、匿名5名

熱いご支援ありがとうございました。